

	熊本大学 理学分野
学部等の教育研究 組織の名称	理学部（第1年次:190） 大学院自然科学研究科（M:392 D:62）
沿革	<p>明治20（1887）年 官立第五高等中学校設置</p> <p>明治27（1894）年 官立第五高等学校設置</p> <p>昭和24（1949）年 新制熊本大学設置・理学部設置</p> <p>昭和41（1966）年 大学院理学研究科修士課程設置</p> <p>昭和62（1987）年 大学院理学研究科博士課程設置</p> <p>昭和63（1988）年 大学院自然科学研究科博士課程設置</p> <p>平成10（1998）年 大学院理学研究科を大学院自然科学研究科博士前期課程・博士後期課程に改組</p>
設置目的等	<p>官立第五高等中学校は、明治20年、指導階層の人材を育成し、東京大学等の上級学校に入学する者に対して必要な基礎教育を施すことを目的として設置され、明治27年、高等学校令（勅令第75号）により官立第五高等学校と改称された。</p> <p>昭和24年、新制国立大学の発足時に、熊本大学理学部として承継された。</p> <p>昭和41年、理学に関し広い視野に立って専攻の学問分野について精深な学識と研究能力を有する者を養成し文化の発展に寄与することを目的として理学研究科修士課程を設置した。</p> <p>昭和62年、自然環境の機構を解明し、それと人間社会とのよりよい調和を探究し、多様化する社会の要請に対応し得る人材育成を目的として、理学研究科に博士課程を設置した。</p> <p>昭和63年、理・工学部を主体として、学内の自然科学系の協力により、多方面の複合領域に柔軟に対処し、堅実な基礎学力と広い分野にわたる応用能力を備えた総合的視野を持つ実践的人材の育成を目的に、自然科学研究科博士課程を設置した。</p> <p>平成10年、科学技術の急速な発展や先端新分野の出現への対応、18歳人口の急減に対応する大学院教育の充実等、科学的・社会的要請に適切に対応するため、理学研究科修士課程・博士課程と工学研究科修士課程・博士課程が自然科学研究科博士前期課程・博士後期課程に改組された。</p> <p>平成16年、理学共通の知識や多面的な思考法などの知的な技法を修</p>

	<p>得させ、卒業後の進路の多様化と社会の急激な変化にも柔軟に対応できる人材を養成することを目的として、一学科制に改組した。</p>
<p>強みや特色、社会的な役割</p>	<p>熊本大学は旧制高等学校の剛毅木訥の気風と伝統を受け継ぎ、全学教養教育（理学分野）の責任部局としての役割を果たしつつ、論理思考力と観察・洞察力を兼ね備えた人材育成を行っている。また、九州地域における総合的かつ高度な理学教育・研究の中心的役割を果たすべく、絶えざる改革を通して理学及び地域社会の発展に貢献しているところであり、以下の強みや特色、社会的役割を有している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学生や社会のニーズに柔軟に対応するだけでなく、熊本県をはじめとする九州全域における総合的理学教育の機会均等に資するべく、一括入試方式による一学科制を導入した。最初の2年間は理学全般の基礎的理論や実験手法を身につけさせ、3年進級時に希望する専門コースを自由に選択させることで、幅広い専門性を有する理系のジェネラリスト養成を目指す。大学院修士課程においては理学に対する俯瞰力や応用力を有する専門性の高い人材育成の役割を充実するとともに、博士課程においては最先端研究や質の高い理学研究を遂行し深化させることのできる高度な研究能力を有する先導的な人材育成の役割を果たす。</li> <li>○ 理学全般を俯瞰できる教育プログラムの一層の強化を図るとともに、研究者養成を目的とした英才教育プログラム制度（Junior Research Fellow）を充実しつつ、学びの質や学士の質を保証するシステムの改善を図る。さらに、グローバルに活躍できる人材育成に向けた学部・大学院教育への取り組みを強化する。</li> <li>○ 我が国の産業の基盤となり得る基礎生命科学及び化学分野については高い研究活動実績を有しており、さらに、個々の教員は理学の発展の基礎をなす質の高い研究を野心的に推進し、その成果を世界に発信していくことで、我が国の理学の発展に貢献する。</li> <li>○ （1）教育関係共同利用拠点として、八代海・有明海の沿岸海域の環境問題や生態系について、小中高生への啓発活動を通して地域社会に貢献する。（2）地下水環境リーダー育成国際共同教育拠点として、地下水資源の持続的利用に必要な知識や技術を提供することで、広く社会に貢献する。（3）過疎地域において、教育委員会の協力のもと小中高と連携した総合的教育支援を通し、地域活性化に資する事業を展開する。</li> </ul>

- |  |  |
|--|--|
|  | <p>○ 学部及び大学院の授業開放、社会人入試や本学の長期履修制度などを通して博士学位取得を支援し、社会人の学び直しを推進する。</p> |
|--|--|